

# もど子と人婦

號六第 卷貳拾第



行發會ルベールフ

次目號六第卷二十第

學齡未滿兒童教育方法の研究を望む

哺乳兒の營養法

はなしやうぶ

幼稚園一の組觀念界調査

# 幼兒の色彩識別力調査

森の幼稚園

雜  
錄

乙竹岩造

石壕保吉

保井コノ

坂本小學校附屬幼稚園

同上

倉  
橘  
惣  
三

SK生

# 婦人と子ども

第十二卷第六號

## 子供の將來を樂め

東京女子高等師範學校教授

篠田利英

樂しみを將來に求め

草花や植木のない庭は寂しい如く、子供のない家庭ほど寂しいものはあるまいと思ひます。庭の木に手入れをして、庭をだん／＼よくすることが自分の樂しみであるやうに、子供をよくし立てるといふことは親たる人の最も大なる樂しみであります。然しながら、人間は兎角、樂しみを目前に求めて、永遠の事を考へないもので、植木にしても、後になつて繁茂して來た時の恰好等を考へて手入するといふやうなことは餘りないやうであり

ます。庭等は目の前の樂しみでありますからこれでもよいかも知れませんが、子供の場合は決してさうではありません。寧ろ其の樂しみは後にあると思ひます。然し事實に就いては同様に目前の事ばかりに樂しんで居るのが多いやうで、例へば、小さい子供に對して、猿に藝を教へるやうに、いろ／＼なことを教へ込んで人に褒められるのを悦んだり、或は徒らに綺麗な着物を着せて、親が見て樂しみ又は人に見せて誇る、そして、さういふことが後になつて如何なる影響を持つかといふこ

とを考へないのであります。これ等は眞に子供の爲めを思ふ所以ではなく、親自らが目前の樂しみを子供から得やうとする極めて小さな考へであらうと思ふのであります。

### 後藤男の美心

今更ら申すまでもないことではありまするけれども、母親の心掛けが子供に及ぼす感化の、實に偉大なるに驚くものがあります。私は此の頃、或る機會で、後藤新平男の書かれた「青年訓」といふ書を見ましたが、其の書の終りに後藤男爵の自叙傳のやうなものが附して御座います。御承知の通り男は、彼の有名なる相馬事件の嫌疑者として囚窓の人となられたことがあります。それは、相馬事件のヒーローであつた錦織といふ人と、志を同ふしたといふことが嫌疑となつたのであります。其の公判に際して判事から訊問を受けました時に、後藤男は一首の歌を作つて、判事に出され

たそうであります。その歌は、

盛りには見る人多き散る花の

後を問ふこそ情なりけれ。

といふのであります。歌として價值がどれだけのものかは知れませんが、兎に角、この歌の意味は弱きを助けるのが人の情であるとの意味であつたのです。と云ふのは錦織が相馬事件の爲に獄に繋がるゝやうになつた時は、非常なる借財があつたのであります。男はこれを氣の毒に思ひ、錦織の心配をなくしてやらうといふので、其の證文に連署したもので、これが嫌疑の種となつたのださうですが、何も錦織と志を同うし其の目的を達しさせる爲に働いたといふ事ではなかつたさうであります。

この美はしい義侠的精神といふものは、何から養はれて居るものかと云ひますと、男の云はるゝ處よりすれば、母様から得てゐるものに外ならな

いのであります。男の幼少の時代に於いて、常にこの歌を母から聞かされて居た爲めに、弱き者を助けるといふことが終始頭の中に働いて居たのであります。これを以つて見ても、子供の時に、知らず／＼に養はれた何ものかは、ある機會を得て必ず外界へ現はれて來るといふことが考へられて來るのであります。

#### 私の經驗

私自身に就いて見ましても矢張り同様の經驗が思ひ出されてくるのであります。これは別に私自身を以て後藤男の場合に比較しやうとするやうな不倫を忍ばうとするものではありません。たゞ事實の上に就いて申すのでありますが、私の幼少の時分に、私の母はよく次のやうな歌を云ひ聞かせたものであります。

學問は坂に車をおす如し。

ゆだんをすれば後へもどるぞ。

勿論これも歌としての價值などの有りやうもありませぬが、たい私に對する一の教訓として、深く自分の心に泌み込まれてゐるのであります。その爲めに長じて東京へ來まして學生々活を送るやうになつてからも、怠惰の氣を生じかけると、この歌を想ひ起しまして、幼少の時分に、よくこの歌を云ひ聞きました母の顔が、あり／＼と眼に浮び出でたのであります。すると、はッこれではと云ふ考へが頭の中に閃めいて來て、勇を鼓して勉強するといふやうな事が屢々あつたので御座います。

私の母等は勿論學問があつた譯ではありませんが、それでも、さうした事を私の頭の中へ入れて置いて貰つた爲めに、後になつて、どれだけ自分の爲めになりましたか知れないと思ひます。若し母親が更らに知識の深い人でありまして、もつとよく私を導いてくれ、また生涯を通じて、私の主

義となるやうな透徹した觀念を、子供の時分に頭の中へ入れて置いて呉れましたならば、どの位私の生涯に利益となつたか知れないと思ふのであります。

### 婦人の生命

ラスキンといふ人の申しました言葉に、『婦人の純粹なる愛に依つて清められ、其の勇氣によつて勵まされ、其の智慧によつて導かれざる男子は、未だ嘗つて眞に正しき生涯を送りしことあらず。』

と云つて居るさうですが、これは獨り男子のみに限られたことではなく、女子に於いても同様であらうと思ふのであります。ラスキンの申したやうな立派な母によつて導かれた人は、必ずよき人になると云ふことは申す迄もないことで、さういふ母にあらざれば、人をして眞に正しい生涯を送らしむることは難い事であらうと思ひます。

家庭に於ける母の務めの大きなことは實にラスキンの言に盡されて居ると思はれるのである、兒童を完全に育て、將來の大なる樂しみを得るものにしやうと云ふには、矢張り婦人の純粹なる愛と、勇氣と、知慧とに依つて、適當に導かなければならぬ。それには女子をして、純粹の愛と、勇氣と、知慧とを持つ者にせなければならぬのであります。然るに世の多くの人には、矢張り、さういふ永遠のことを考へずに、眼前の小さな都合のいゝ事ばかりを考へて居るやうで、例へば高等女學校を卒業した女子を、更らに教育する目的を以つて設けられた學校がありまして、差し向き間にあふ裁縫や料理を教へる處には、多くの人が入りますけれども、さういふ業ばかりではなく、それと同時に頭をも造り、合せて技藝を授けるといふやうな完全な組織だつた學校、従つて卒業にも長き年月を要するやうな學校へは、餘り人が入らな

いのであります。こゝにも眼前の小利益のみを見て將來の大利益を考へないといふ人間の弱い一面が現はれて居ると思ふのであります。

かういふ差し向きの、間にあはせ主義ばかり取つて居ますと、ラスキンの所謂、純粹の愛を以て清め、勇氣を以つて勵まし、知慧を以つて導くことの出来る母親を得ることが困難になる譯で、從つて、次代の國民を益々善良なるものにして行かうといふ希望が薄くなると思ふのであります。

#### 日本人と上流の子供

一體に我國の人は、永遠の事を考へる念が薄くして、眼前の利益ばかりを考へるといふことは、我々同胞の間にも常に云はれて居り、また外國人の間にも云はれて居ることであります。前年、大學の雇教師をして居られたミルンといふ人は、日本人は一時的の間に合せの考ばかりを持つて、後の事を考へないのは地震の多い爲めであると云つ

て居ましたが、さういふ地震其の他の天然が、幾分人の性質に影響を及ぼして居たかも知れませんが、然し、教育の仕方によつては、さういふ性質を矯め行く事が出来やうと思ふのであります。

概して云ひますと、日本の上流の家庭に於いては、子供を母親が自ら育てずして、人に任せて置くといふ風でありますので、婦人は自分の子供に對しては、十分の愛情を持つて居ますけれども、他人の子供には、其の愛情が起り悪いやうに思はれます。故に親でない他人に育てられた子供は、純粹の愛を以つて清められる機會を與へられない譯で、又、雇人等にあつては、眞に道德的の勇氣を以つて、人の子供を勵ますといふやうな事も出来ず、又、眞に知慧を以つて、善き方に導くといふやうな考へも持つて居ないのであります。さうすると、上流の人の子供は、ラスキンの言に従へば、眞に正しい生涯を送ることが難くなるといふ

結論に達しなければならぬと思はれます、眞に正しい生涯を送ることの出来ないやうな人になれば親を安心させ、眞に親を楽しめることの出来る人になれないので、こゝに至つて、親は初めて失望しやうけれども實は既に自分が失望の種を蒔い

て居るので、其の種から生へた實を收穫するに外ならないのであります。故に子供に就て眞に大なる樂を得んとする者は眼前の小樂を捨て、後を慮らなくてはなりません。

## 學齡 未滿 兒童教育方法の研究を望む

東京高等師範學校教授 乙 竹 岩 造

### 一 兒童教育の趨勢

我が國の教育も、近來だん／＼と改良進歩を來して、義務年限は延長せられ、兒童就學の歩合は増加し、今日では歐米先進國のそれと比べても、甚しき遜色を見ざるに至りましたことは、誠に喜ばしい事であると存せられます。然しながら、これは學齡兒童に對する學校教育の進歩であつて

未だ學齡に達せざる幼稚なる子供の教育、養育が我々の望むが如くに十分善く行はれて居るか、どうかと願ふと、私は未だ遺憾の點が頗る多いやうに思ふのであります。

學校教育は、申すまでもなく滿六歳から始まるものであります。但し、未だ學齡に達せざるそれ以下の子供といふものに對しては全然教育的の考



へを加へなくともいゝか即ち學齡未滿の兒童は教育の考への以外に立つて居るものであるかと云へば、決してさうではございません。或る意味から申せば、學齡に達せざる子供の教育、而も廣い意味に於いての教育といふものは極めて大切な事でありまして、凡そ家庭に於ける仕事の中でも、特に注意をせられなければならない方面であると思ふのであります。一體人間の一生に對して、極く小さい時の教育の方が大事か、すつと大きくなつた頃の教育の方が大切かと云ふことは、これは決して一概には論定せられない事柄でありまして、兩方とも至つて重要な事であります。殊に知識、技藝の教育を初めとし、才能の陶冶や、才幹の練磨等に就いては、青少年の教育の方が、直接の關係を持つて居ると思はれますけれども、然し品性の基礎、性行の苞芽が涵養せらるゝといふの方面から考へると、どうしても小さい子供の時の教育

が根本であると云はなければならぬのであります。故にこの點からのみ考へて見ても、未だ學齡に達せざる幼稚な子供の家庭教育は、これは人の一生涯に對して實に重大な關係を有つて居るものであると申さんければなりません。

勿論、私が茲に教育といふのは、學校に於いて行はるゝ如く一定の時間、一定の課業を勉強させるといふことを指して申すのではございません。寧ろ廣い意味に於いて、陶冶感化に關係を有つて居る教育作用を指して云ふのであつて、所謂教育的空氣とか、陶冶的環境とかいふやうなもの、全般に涉つて申すのであります。で、斯ういふ廣い意味から考へて見ますと、われゝ人間の品性の基礎性行の萌芽を造くる所の幼稚なる子供の教育といふ事は、人が通例考へて居るより以上に、極めて深い注意を要する事であると存せられます。殊に子供の猶ほ未だ小さい時分には、其の心身の

状態が極めてやはらかで、その陶冶性が大きくて、善くも悪しくもなり易い傾きに最も富んで居るに於いてをやでございます。

一體、教育といふ事を、極く廣く考へて見ますと、善く發達せしむるといふ方と、悪くならないやうに防護するといふ方との兩方面に涉つて考へて見なければならぬのであります。教育的影響の子供に對する關係は、丁度、ミクローベンに對するトキシンとアシチトキシンとの作用のやうなものであつて、善い方の勢力が弱いといふと、悪い方の勢力が猖獗を極めるし、又悪い方の勢力が影響を逞ふすると、善い方の感化が十分に及ばれないのであります。斯様に悪い影響を受けることを獨逸の言葉でフエルチーフングといふて居ります、此のフエルチーフングといふものと、それから所謂本統の教育、即ち獨逸の言葉でエルチーフングといふものとは、マア言はゞ相對して働くも

のと申して善からうと思はれますので、即ちエルチーフングの力が弱いと、フエルチーフングの勢力が大に猖獗を極める譯でありまして、これ即ち注意せられざる家庭に於いて、往々子供の未だ幼い時分から、既に種々悪い品性が作られ、いろ／＼面白くない行爲を感染する子供が出来る所以であります。彼の不良兒などが其の品性上の惡癖をその尙ほ未だ學齡に達せられざる中に造られて居るのも實にこれが爲めであります。

これに反して幸にエルチーフングの力が十分に強いといふと、所謂フエルチーフングの勢も其の勢力を逞しくするに餘地がないものであります。これ即ち教育的に注意せられた家庭に於いては善い品性の苞芽が早くも既に子供の上に築き上げられるのであつて、たとへ其の後多少の誘惑にあひ、幾分の障礙に接しても、幸ひに甚だしくそれに影響せられ無いで、善い子供として、益々發達して

行く所以も亦たこゝにあるのでございませう。質ちの至つて善い子供になると、まだ學校に來無い以前から、その品性が洵とに素直ほに、のび／＼と出來て居つて、學校へ入つてから後も、さう特別に注意をせずとも、すん／＼と發達して行き居るのも亦た之れが爲めでありませう。斯様に考へ來るといふと、凡そ子供の教育に興味を有つて居る人は、深く思ひを茲に致さんければならんと存せられます。

## 二具體的方面の缺陷

かやうな點から考へて、私は未だ學齡に達して所ない子供、即ち滿六歲未滿の兒童の教育といふものは、これは最も注意をせられなければならぬ大事な問題であると思つて居るのでございます。近來は、家庭の事であるとか、子女の教育であるとかいふやうな事が、だん／＼と世の中に注意せられて參つて、之れを十年前に比らると、一般

にかういふ方面に餘程思慮を加へるやうになつて來たことは爭ふべからざる事でありまして、これは實に何よりも喜ばしい事であると思ひます。従つて、例へば子供の虚言などがどんな風に起るかとか、親達ちの性質行狀が如何に子供の上に影響を及ぼすとか、或は又家庭の出來事が、どんな風に子供に作用をするかとかといふやうな色々な點に就いても、だん／＼と調らべられたり、傳へられたりして随分有益な且つ興味ある材料が殖えて來ることも亦た洵に嬉しい事であると存じます。

然し私の望む處は、かういふやうな材料に基いて、更らに一步を進めて、家庭に於ける幼兒教育の方法を具體的に研究せられ度いと云ふの點であります。それ／＼の材料や報告は、誠に結構なものであるは勿論であります。それ等の材料に基いて、幼い子供を養育するには、どういふ方法が、

一番よいかといふ問題に就いて、少しづつでもその要領を築き上げて行つて、それがだん／＼と世に實行されて行くといふことになる。更に結構であると思ふのであります。さうなると即ち家庭に於ける幼児教育の實際が進歩し、改良されて参りますから、これは實際上の問題として國民一般が多大な利益を受けることになると思ふのであります。今も申す通り、近頃は世の中一般にかういふ方面が段々と注意されて來て居る位でありますから、此の要求は確かに起つて居ると私には思はれるのでございます。又、子供の性質の有様やその境遇、事情と品性行狀との關係やなどに就いても參考に資すべき調べが段々表はれて居る所を以てすれば、斯ういふ研究の材料も不十分ながら段々と有る様に思はれるのであります。それ故に、これに依つて實際的に具體的要領が考へられてそれが實行されて行くと云ふやうな風に努め

られ度いと、私は切望に堪えないのであります。而して、これ等は、皆が協力して共同的にだん／＼と築き上げ、こしらへ上げて行つて、仕まひに幾分でも纏つた指針とでもいふべきものになるべき性質のものであつて、決して一舉にして纏るといふものでは元より無いのでありませうから、永年の間に涉つてよいから、家庭教育の實際に對して指針ともなるべき具體的要領が少しづつでも、こしらへ上げられて行く事が極めて大切でありはすまいかと思ふのであります。殊に此の會の會員の方々の力によつて其の進歩改良を見度いと望むのでございます。

### 三 早熟教育と私の所見

近來、米國では早熟教育といふ問題が大分やましくなつて居りますので、例へばハーバート大學のウイナー教授であるとか、ヴォルジニヤ洲のミセス・ストーナーであるとかいふやうな人々

などは、自らこれをその子供に行つて居るといふこととありまするし、又ニューヨーク市のホーリス、サイジス氏の如きはこれに關する意見を公にして居て、米國では近頃大分やかましい問題になつて居るやうでございます。然し私は、かういふ早熟教育を行ふがよいと云ふ意見ではありませんと申すのは、此れ等の人々の唱へて居る處では、子供の二三歳の頃からして、今の學校教育で行つて居るやうな教育を施さうといふやうな考へでありますが、これは私の考へでは、實際に困難な事でもあるし、又これ等の人々の望んで居る如くに、大なる効果のあることとは思はれないのみならず、又心身上に及ぼす危害も無いではないと思ふからであります。然しながら未だ學齡に達せない子供に健全な陶冶的空氣の中に生長せしめ、思慮ある教化的周圍の中に發達せしむるといふ事に就いては、大に考へねばならぬ點があらうと思

ふのであります。言ひ換へれば、學校教育で行はれて居る如き系統立つた規則立つた教育、推理や技能を練るやうな課業を科するといふ事には反對でありますけれども、さういふ事ではなく、養育、教育の全般の上に、よく注意をせられ考慮を加へられそして品性上並に智能上に健全な發達をなさしむることに心掛けられ度い、少くとも彼の一生拭ふべからざる如き品性上の惡癖や智能上の低劣を來たさしむるやうな事の成るべく無いやうに子供を養ひ育てるといふ大目的の爲めに、參考となるべき要領方法を攻究することは、これは大切であると思ふのであります。殊に其の結果が我が邦家庭教育の實際の上に、少しでも裨益を與ふる事になりましたならば、この上もない幸であると思ふのであります。さういふ切なる希望から致して私の考への一端を御話して、御參考に供した次第であります。(文責記者)

# フレーベル主義新釋

(静岡縣保育會第六回總會に於ける講演大要)

倉 橋 惣 三

凡そ古いものに對する態度には、三つの種類があります。古いものは何んでも貴いものである、一道に尊重、尊敬すべきものであつて、これを非難する如きは勿論、批評を試むるさへも神聖を穢すといふやうな態度が其の一であります。次に古いものは何もかも時代後れのもので、今日の新しい時代にあつては、總て無用のものである。そんなものは頭から打ち毀そうといふのが、第二の態度であります。それから、總の古いものを、當に其の古きが故のみからでなく、慎重なる研究によつて、詳細なる批評を加へると共に、益々其の眞

價值を尊重しやうといふのが第三の態度であります。

幼兒教育に於けるフレーベル主義も、また此の三つの態度を以つて迎へられるのであります。ある者は一も二もなくこれに盲從して、其の傳説的權威ともいふべきものを、徒らに尊重して、これに對し、彼れこれ論議を試むるさへ、相濟まぬやうに思つて居るのであります。そうかと思ふと、新しい時代の要求、新しい學理上の研究といふやうのものを、振りかざしてフレーベル主義の或る缺點から、其の全體を却けやうといふやうな兩方に極端な考へがあるのであります。此の間に

立つて私共の態度は如何にあるべきかと云ひますと、如上の兩極端論者は共に其の結論は兎も角、態度の甚だ淺薄なることを感ずるであります。勿論、フレーベルの時代と今日とは、教育の基礎となるべき心理學の發達が非常に違つて居ります。従つて今日の眼から批評的に見たるフレーベルの教育意見は、自から多くの缺點を有して居るのであります。然しその長所は勿論、缺點の裏にさへも、フレーベルの貴重なる根本思想の漂ふて居ることを見出すのであります。フレーベルの如き教育上の學者と云ふよりは寧ろ天才であつた人に對しては、吾人の研究の進むと共に、缺點も明かになると共に尊ぶさもまた益々大にならざるを得ないのであります。茲に敢てフレーベル主義の新釋と題しましたのは、この鋭さと謙遜とを失はざる態度を以つて、古いフレーベルを新しく考へて見度いと思ふのであります。

## 二

フレーベルの考へには、其の考へ方の形式に二つの特色があります。一は論理的なること、一は象徴的なことであります。

フレーベルは必ずしも哲學者と呼ぶべき人ではなかつたのでありますが、其の性質と、幼時の境遇とによつて、總のものを深く考へ、一々筋道を立て、論理的に築き上げて行くと云ふ風がありました。其の爲めに氏の思想も方法も常に甚しく理の勝つたものになつて居ります。この事は幼兒教育に關するフレーベルの天才的着想に對しては、多くの惡しき影響を與へて居るのであります。氏の『人の教育』や『幼稚園教育論』等を讀めば、氏の思想が如何に理詰め主義であるかといふ事を氣が附くのであります。殊に氏の所謂、恩物はこの最も著しきものであります。御承知の如く、今日、普通に何の氣もなく用ゐられて居り

ます種々の恩物は、フレーベル自身の考へから云へば、大層な理窟の籠つて居ることでありませう。先づ第一恩物の毬は宇宙の統一を表はして居る完全體であつて、其の他の恩物はこれから、論理的に派生せられて居るものであります。詰り、フレーベルの考へでは、此の恩物によつて、氏の哲學觀が幼兒に教へられて行かうとするのであります。

然るに斯の如き恩物を以つて、教育せられやうとする幼兒そのものは甚だ非論理的なものであります。一體總の教授に論理的と、心理的との二種があつて、其の論理的方法の多く不自然なることは、兒童心理研究の明かに認めて居る處であります。兒童の了解は多くは全體から部分に及ぶものでありまして、成人の抽象的な論理的解釋の順序とは全然違つて居るのであります。

現に今日に於いては、幼兒教育の教材として、

所謂、恩物の使用は漸次減じて居ります。少くも昔の嚴格なる遵奉に對して甚しく自由なる變改を加へられつゝあります。即ちフレーベルが恩物を用ゐて幼兒の自己活動を發揮せしめんとした其の着想の根本は、大に尊重すべきでありますが、其の實行上恩物其のものゝ組み立に關しては、今日の兒童心理學の原則に反すると云ふことになつて居るのであります。

フレーベルを尊敬すると共に、其の恩物もまた必ず一々忠實に使用しなければならぬと云ふは、古きものに對する第一の態度であります。其の誤りなることは勿論であります。然しこれが故に、フレーベルが恩物を造りました根本の精神が全然捨てらるべきものではありません。其の精神の採るべき處に従つて、今日の兒童心理學上の原則から新しい恩物を兒童に與ふことは、即ちフレーベル主義新釋の大切な一項目であります。



フレーベル教育の第二の特徴が、象徴的なことは、これまた彼れの著述の明かに示して居る處であります。殊に彼れの大作『母の遊び』唱歌は其の最も著しきものであります。彼の書の中に含まれたる多くの唱歌は、フレーベルの考へから云へば、自然、家庭、社會、國家等の抽象的觀念、及び兒童自身の内的生活を象徴したるものであります。この象徴を徹して幼兒にこれらの抽象的知識を與へやうといふのであります。象徴主義はフレーベルの教育思想の最大要訣の一でありまして、幼兒の心理作用そのものが、元來象徴的なものであるといふ説に基いて居るのであります。然しこれは今日の兒童研究の明瞭に否定する處であります。斯の如きは、成人から見ただけで過ぎないのであります。従つてこれを幼兒教育の手段とするの不適當なる事も云ふを用ゐま

せん。而も今日、尙且つ幼兒教育の象徴主義の遺弊を認むることは、談話材料若しくは唱歌の選定等に於いて、屢々見ることでありまして、これが爲めに幼兒教育の新進歩を害することが尠くないと思ひます。元來、我が國古來の道德教育には、象徴主義の傾向が尠くないのであります。先日、文政年間の著述で、當駿河の國に關係のあつた後藤某と云ふ人の寫本を見ましたが、其の中に子供の「おつむてんく」「かいぐりく」「てうちく」「にぎく」などが一々訓育的の意味あるもの、如く解釋されて居るのを見たことがあります。例へば「おつむてんく」は、立服せぬやうに心で頭をおさへる事である。又「にぎく」は何事によらず、物事をにぎりつめず、又開け放しにせぬやう緩急程よくせよとの教だと云ふ如きことが書いてありました。斯の如きは勿論、笑ひ話の如き極端なる例であります。程度こそ違へ、總の

ものを訓育の象徴に解して行かうとする弊は、吾々にも少なからぬことであります。

フレーベルの按出したる教育法の中で、この象徴的弊害を除く必要することは、最も注意を要すべき點であります。而して其の象徴主義の弊を排すると共に、この象徴によつて幼児に興へんとしたフレーベルの心の裏は、今日も尚、貴重すべきことであります。この尊重と改良とは、吾人のフレーベル主義新釋の第二の重用なる項目であります。

#### 四

此の他、新釋によつて研究を試みらるべき項目は尠なからぬことと思ひますが、フレーベルの思想に誤つた表出を興へた大原因は、以上二つが最も主なるものであります。そこで、この誤れる衣を脱いで、フレーベル主義の本體に穿ち入りますならば、如何なる要點を吾人に教ふるであります。

せうか、これまた、細部に涉りますならば、限りなく多くの點を教へ得ることと思ひますが、兒童の自己活動を尊重し遊戯を以つて最も貴重な教育方法として、自然を以つて最も貴重なる教材としたる點であります。而もこれが前述の二つの誤りによつて、『母の遊び』の象徴的遊戯によつて、眞の遊戯の意義が誤られ、また論理的恩物の按出によつて、自然物による教育の新意義が減せられたのであります。果して斯の如しとしますれば、私共フレーベルを尊重する者の今日の責務は、フレーベルを忘れて、所謂新教育法に馳ることではなく、フレーベルを研究して、其の深き眞精神の誤らざる表現を興ふことであります。

近來、教育學上の新主義として、唱導せられて居ります彼の作業主義教育の如きも、其の思想の根底が兒童の自己活動を尊重するフレーベルの思想の中に存して居るものであることは、多くの

學者に明かに認めて居る處であります。其の形を捨て、フレーベルの眞精神を深く研究したものは昔から一種の作業主義教育者であつたのであります。又彼の教育に戯曲本能を利用する新傾向の如きも、フレーベルの遊戲の教育の中に特に存して居るのであります。又、近時評判なる彼のモンテッソーリ教育の如きも、他の幼兒教育者がフレーベル主義の形式に囚へられて居る間に、其の沈滞を脱してフレーベル主義の生ける中核に徹底したるものに過ぎないのであります。即ち換言すれば、近時の教育上の新傾向は、何れもフレーベル主義の一種の新釋と云つても過言でないのであります。フレーベルの偉大なる天才的思想は、其の短き實行の間に按出せられた方法の中に盡くるが如き小なるものではないのであります。吾々もまた、慎重と共に一層自由なる新釋を試むることが幼兒に對する吾人の責任たるは勿論フレーベルに對す

る責務でもあると信ずるのであります。

## 五

終りに尙一言を添へて置くことは、前にも一寸述べた如く、フレーベル主義新釋は單に幼稚園教育の問題たるのみならず、近時に於いては廣き一般兒童教育問題の傾向であることでもあります。これを他の方から言へば、從來幼稚園教育者のみの領分と認められて居りましたフレーベル研究は、一層廣き教育研究に重要な位地を占め來たつたことであります。其の幼兒に對する深き愛心、己れを空ふして此の小さきものの爲めに盡くす天職の高き自覺、また靜かに自ら安んずる自己慰安等に就いては、更めて云ふまでもありませんが、而も幼稚園教育が學界の問題として、何となく小さき事であるかの如き感じは、幼稚園教育者の往々にして免れ難き正直なる感じであります。而も現今、教育學界の大勢は幼稚園教育者の研究

問題に對して大なる識認と、追従とを示して居るのであります。研究の問題としても、幼稚園教育は、今や決して小なるものではないのであります。

## 哺乳兒の營養法（二）

醫學士 石 塚 保 吉

哺乳兒の營養法、これを易しく云ひますと、お乳の吞まし方であります。かう云ひますと、極く詰らない何でもないのであるやうに考へられまされども、實際は非常に六ヶしい事柄でありまして、小兒科の醫者は常にこの爲めに苦心をして居るのであります。

この方法が宜しきを得て居るか否かは、直接に子供の發育の上に大いなる影響を及ぼすものであるの不當なる爲めに、消化機病を惹き起して其の子

お互に堂々たる自重を以つて益々眞個のフレーベル主義新釋を勵まなければならぬと思ひます。

供の一生に少なからぬ不利益を來すものであります。哺乳兒の時代に、一度消化機を害しますと、夫が度々再發致しまして非常に子供の發育を妨げるもので其影響は殆んど一生これがついて廻るのでありますから、何んでもない事のやうに思つて居るお乳の吞まし方は、極めて細心の注意を要するのであります。

營養法といふ中には、二つの區別があります。即ち（一）天然の營養法、（二）人工營養法、であり

ます。云ふまでもなく(一)は母の乳で育てる場合で、(二)は牛乳其の他の代用品で育てる場合であります。この二つを分けて、少しく御話して見やうと思ひます。

### 一 天然の營養法

二種の營養法の中で、天然營養法は最も自然に適つた完全な營養であることは勿論であります。何故、母の乳が最も適して居るかといひますと、大體次の三つの理由に因ると云ふことが出來やうと思ひます。

(一)、子供の方に營養品として要求するものが、其の儘に母親の乳から供給されるからであります。

(二)、母親の乳でありますと、生きた其の儘の乳を吞ますることが出來るからであります。御乳は決して無生の液體ではありません、其中にはいろいろな生活力が含まれて居りますので、例へば

消化素や、アンチトキシン即ち抗毒素といふやうなものがあつて、夫れが其の儘に子供の體內に入つて行くことが出來、從つて子供の消化が適法に行はれ、抗毒素がある爲めに傳染病や、其の他の病に抵抗することが出來るからであります。

(三)、母の乳は乳房から直ぐに子供の口へ入りますから、消化機病の原因となるべき微菌がつかない。從つて消化機病に罹る場合が、それだけ少い譯であります。

其の他、實際に於きましても、母親の乳で養はれた子供は、人工營養によつて育てられた子供に比して、發育も營養も非常に勝れて居て、病氣に罹る事が少く、病氣に罹つた場合にも、人工營養兒に比して抵抗力が強く、死亡の比も少く、また、病の治るのも早いといふ事は、事實の示す處であります。かやうに理論の上にも、實際の上にも、母乳は子供の營養品として最もよいものであります。

すから、第一にこれを與へなければならぬのであります。然し前にも申したやうに、其の與へ方が不當である場合には、種々な弊を醸して來るのは勿論であります、一般に母親の乳だと云ふと安心して、何の考へもなく欲するまゝに與へて置くといふ場合が多いのであります。併し母乳と雖、何時も完全のものとは云はれません、時として夫れを療さねばならぬ場合があります、例へば、母親に脚氣のあるとき其乳を飲まして居りますと、乳兒脚氣と云ふ恐ろしい病氣に罹り、生命を失ふ事も往々あります、又母親の肺結核であるのに乳を飲まして置きますと子供に結核を傳染するのみならず母親の體が段々衰弱を増して參ります、其他母の乳房に病がある時、乳首が小さくて吸付く事が出来ぬ場合、御乳の分量が少なくて子供を養ふに足らぬ時、母親が熱病に罹りたる場合などには、乳を與ふる事は出来ません、母親が梅毒の時には、

却て其子に御乳を與へた方が宜しいのであります此場合には母親の乳の中には自然に梅毒を消す力が備はつて居りまして、一種の血精療法を行ふ様のものですから必らず與へなされてならぬのです。

これ等の特別の場合を除きましては是非共母乳營養を行はなければならぬのであります、又母乳の出様が少ないからと云ふて全然母乳を廢する事は能くない事で、其場合には混合營養と申しまして母乳を與ふる傍らに牛乳を以てそれを補ふて行く方法をとらなければなりません、此方法は勿論天然營養には劣りますけれども、純粹な人工營養に比べると、遙かに優つて居ります、

母乳營養を行ふに就て注意すべき事柄は先づ御乳の出方と子供の大きさとを考へ合せて大凡の分量を定めて置く事です、如何に善良なる御乳でも其量を過しますと必らず消化不良を起すものですか

ら、前號に御話した胃の内容を參考して、飲過し  
のない様に御注意を望ましいのです、御乳の出方  
を計るのは一寸困難でありますから大凡の量を一  
度充分に張つたとき搾つて見ても分りますし哺乳  
の前後に御子様を計つて見ても分ります。

第二は時間を一定する事です、これも分量と同  
じく甚だ大切な事で、哺乳と哺乳の間に適當の  
間隔を置かなければならぬのです、夫れには前號  
に御話した消化の時間を參考して二時間半以上三  
時間とするが適當と思ひますか、斯様致しますと  
胃の中で舊い乳と新たらしき乳と混合して消化不  
良の原因となる様の事があります。

第三は回数で分りますか、之れも初めは分量が  
少ないから八回位、月數が経つに従つて七回六回  
と減じて參りまして五六ヶ月の比から五回と致し  
ます。

第四は乳頭を清潔にする事です、母乳は前にも

申上げた様に黴菌を含んで居るのですが乳頭を不  
潔にして置きますと其から黴菌が子供の胃腸に入  
り消化不良症、のみならず腸胃加答兒を起します  
其故哺乳の後には必らず五十倍位の硼酸水にて拭  
ひ哺乳の前には更らに湯さましてにて拭はれる事が  
必要です。

第五は母親の食物であります母親の食物が、こ  
ども供の影響を及すと云ふ事は古來認められて居る事  
實であります、哺乳時にて深く此點に注意せな  
ければならぬのです。先づ避けなければならぬも  
のは青物類ですそれは多くの場合子供に消化不良  
を起します其他香料、介類、蟹、酒類等です、其  
他藥類も可成飲まぬが宜しいです殊に阿片、ロー  
トエキス、蘆薈、センナ、臭素、沃度、水銀、砒  
素などは御乳の中に出て參りますから氣を付けな  
ければなりません。

次には御乳を口に付けて居る時間ですが、子供

の吸ひ方、御乳の出方にも依りますが、大約十五分間位で十分であります。

## 二 離乳

子供がだん／＼發育して來ますと、天然營養を止めなければならぬ時機が來ます。これを離乳と云ふのです。離乳の時機に就いては、いろいろの説があつて、一定して居りませんが、自分の考へによりますと、齒の生へる時機、即ち生齒を以つて、離乳の標準にする方が一番便宜かと思ふのであります。何故なれば、生齒は發育の状態を最もよく代表して居るからであります。生後八ヶ月か十ヶ月位の間に前齒が五六本生へて來ますから其の時機が一番適當であるのです。たゞ茲に注意すべきことは、生齒の時機が此の頃のやうに初夏の候でありましたならば、其の年の秋まで離乳を延ばして置くことが必要であります。初夏の候は最も消化機病に罹り易い時節だからであります。

乳を離すに當つても、急劇に離しては可けないので、次第／＼に離すやうにせなければならぬのであります。初め、母乳から牛乳に變へるときも、母乳を一度ぬいで、其の代りに牛乳を與へる、これを二三日續けた後に二度牛乳を入れて、一度母乳を減じて行くといふ風にして、先づ牛乳に變へて置いて、次第に、おも湯やおかゆに變へて行くといふやうにすることが大切であります。

若し、さういふ變へ方の出來ない場合、例へば子供が母乳の片手に他の物を食べない、牛乳や其の他の營養物を絶對にとらないやうな子供の場合には、致方がありますから、急劇に變化させる。或は母乳に何か辛味をつけて離さするとかいふやうな方法をとつて、是非牛乳に變へなければならぬのであります。

## 三 乳母の乳を與へる場合

母乳に次ぐ第二の營養品としては、乳母の營養



法であります。然し乳母を頼むに就いては、餘程注意をしませんと、反つて不都合が起ることが多いのであります。故に乳母の撰擇が、先づ大切であります。乳母としての必要な條件を二三掲げて見ますと、

第一、非常な健康體であること、殊に結核、梅毒、皮膚病等の病氣があつてはならぬこと、

第二、乳の出方が十分でなければならぬこと、これを見るには、試みに其の乳母を置いて、廿分間位お乳をすはしめて、子供がそれで満足して、眠るやうでしたらば、それで相當と見なければならぬのであります。

第三、乳母の出産をした時と、子供の出生した時とが、成るべく近いのが最もいゝのであります。然し、そんな者は容易に得られないものでありますから、大體、分娩後六週間か八週間位経過した者を求めるやうにすることあります。又餘

り遅いのも宜しくありません。

第四、年齢は廿代位で、二度目の御産ならば最もよろしいので、初めての御産であれば、乳が上る恐れがあるし、それ以上であると乳が少くなるからであります。

第五、乳母に雇はれやうとする人は、中々眞當の事を云はないもので、いろ／＼の偽を云つて、どうにかして雇はれやうとするものでありますから、一番安全なのは、醫者に検査して貰ふことであります。もつと簡單な方法は、乳母が現在育て、居る子供の狀態を見ることが一番いゝのであります。

これ等の條件が具つて居ると思はれた場合には試みに二三日御乳を與へさして見た上に定めるやうにした方が安全であります。病氣などは醫者でなければ明らないものでありますから、さういふ恐れのある場合は醫者に検査を頼むことが必要であります。

# 面白き麥稈細工

東京女子高等師範學校訓導 藤 五代 策

私は一昨年の夏期フレーベル會の囑託を受けて

幼稚園に適切な手工講習會を開きました、細工の種類は普通の粘土細工、豆細工、紙細工の外綿細工、麥稈細工の五種を實習しました、其の最後にある麥稈細工は、實に私の新研究にかゝるので幼稚園の室内裝飾としては、最簡單にして併かも教育的價值も尠からぬ様であるから、左に其の製作法をお話申上げて、諸君の御研究を願ひたいと思ひます。

一、材料(イ)成るべく節間の長い種々に着色したる麥稈。

(ロ)二十四番の亞鉛引き針金。

(ハ)最細き針金。

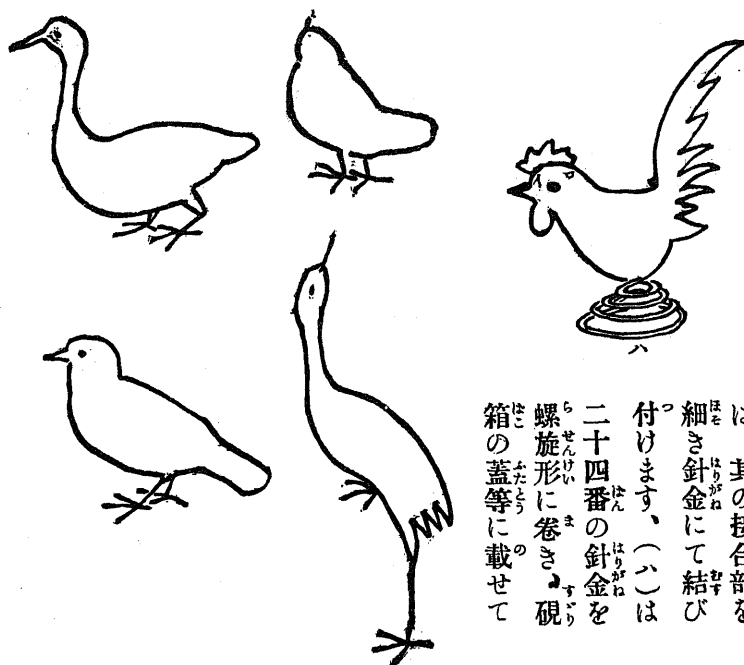
二、工具 工具は喰切若しくは木鋏一挺にて足れ

り。

三、製作法

左圖の如き雞を製作せんには、先隨意の着色麥稈を、十五分間ばかり清水に投じ、(尙水を去りたる後も濕へる布に包みおけば、麥稈は常に濕氣を帶びて曲ぐるに便利であります)、其の心に二十四番の針金を通します、(此は麥稈を自由に曲ぐるためです)

以上の準備が整ひましたらば、次には雞の形狀に於ける特長を作出することが肝要であります雞冠あること、胴の稍卵形なること、尾羽の高く上れること等は其の主なる特長でありますから、其の特長をば飽くまで失はざる様に、麥稈を曲げて輪廓を作るのであります。



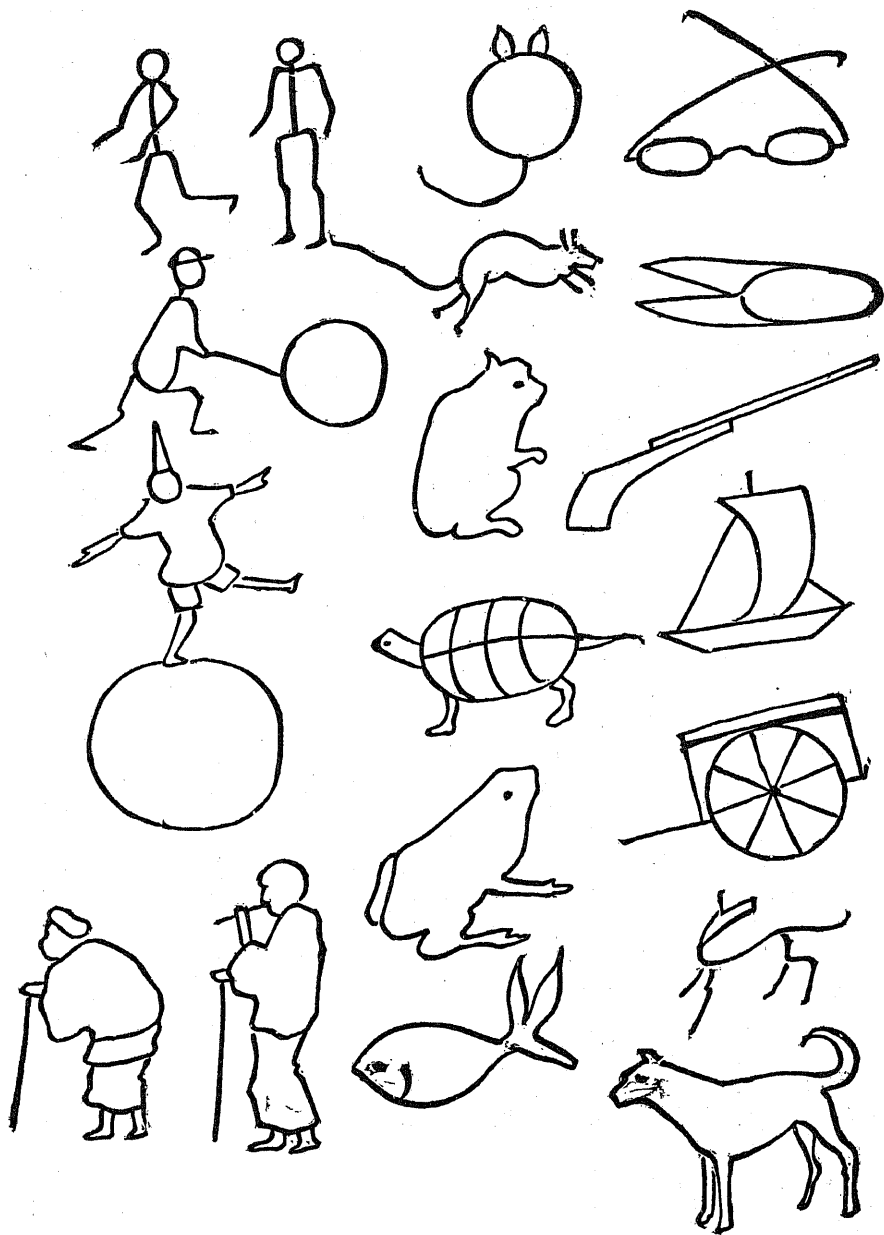
(イ)(ロ)の如く別の麥稈にて雞冠部を作るとき

は、其の接合部を細き針金にて結び付けます、(ハ)は二十四番の針金を螺旋形に巻き、硯箱の蓋等に載せて

移動せしむるのであります。同様の製作法にて牝雞、鶴、水鳥、小鳥等隨意のものを作ることが出来ます。

尙左に器物、諸動物、人物等の例を掲げておきますから、研究してご覧下さい。

以上述べました通り、麥稈を曲ぐることにによりて、極めて簡単に諸物體の形狀を模せらるゝのであります。此の輪廓の模造法は、圖書科と關聯して、物體の觀察を精密ならしむる一方法であります。吾々が物體を見るには、空間と先づ物體とが何う形をして居ると云ふことを見るのが最も肝要なことであります。即ち其の物體の細微の點に注意しないで所謂大體の形が如何様な形をして居るか云ふことに注意するのであります。幼稚園の稚兒や小學校の初學年の兒童は殊に此の傾向を有して居るのである、夫れがだん／＼と高學年に進むに従ひ、物體の局部に亘りて精細に觀察する様になり



ます、兒童に大體の形をハッキリ印象させるために、其の描畫の内部を墨で眞黒に塗り潰す方法は、シルエツト法 (Silhouette) と唱へて圖畫科に於て最大切なる事柄であります、或は輪廓線のみで物體の形狀を描き見はす方法もあります、我邦には古來より後者の方法最よく發達せるもので、彼のシルエツト法と同様に、教育的價值を有するものであります。

## は な し や う ぶ

はなしやうぶ(花菖蒲)の花は其萼花冠雄蕊雌蕊は各三の數からなつて居ます、即萼は臣の最外部となつて大形をして恰も花瓣の様な形をして居ります、此萼と互生して居る花瓣は模形的の花では萼より著しく小さくて鈍頭であります、色は萼と

此の麥稈の輪廓法は、實に輪廓畫の方法を麥稈に代へたるものであつて、頗る教育的價值を有せるものであります。且つ普通の紙類や布類で製作した裝飾品は、汚穢せしとき水で洗ふことが出来ませんが、此の麥稈細工は幾度でも水で洗ふことが出来ますから、何時までも光澤を失ひません、季節は恰も麥稈を抜き取るによい時でありますから必一應御實驗を願ひたいのであります。

東京女子高等師範學校助教授

保 井 コ ノ

同様であります、それで植物の方では此萼と花冠とをまとめて花蓋と申しますから萼を外花蓋花瓣を内花蓋と申します、外花蓋に對してまた花瓣様なものがあります是が雌蕊の上部であります雌蕊は下生子房を持つて居ますが其上部は花蓋と同様の色

をして居りますのが普通であります、しかし普通  
他の花に柱頭といふ花粉を受ける部分は此花瓣状  
をして居るもの、先端でなくして此部の外方を見  
ますと、先端から少しく下つた所に一寸した段の  
様な部分があります、是が柱頭であつて却つて上  
にある部分は花柱に屬するものです此花柱と外花  
蓋との間を見ますと其處に雄蕊の潜在するのが見  
られます、此雄蕊は雌蕊と斯様に接近してありま  
すけれども柱頭と葯とは其成熟の時が違つて居り  
ますから自花受粉は行はれないので花粉は常に蜂  
等の昆虫によつて授粉の媒をせられます、即ち蟲は  
此雄蕊の基部に近くある蜜槽から出る蜜を採る爲  
に此花柱と外花蓋との間にもぐる時に他の花より  
持ち來つた花粉を柱頭につける事はあり、また此  
雄蕊から花粉を持ち去ります、子房は三室あつて  
多數の胚珠を持つて居りますから随つて多數の種  
子を生じます、そして此花全體は苞を以て最初は

つゝまれて居ります。

花萼蒲の様な花の構造を持つ植物を鳶尾科植物  
と申す、是等の植物の葉は概ね劔状をして居り  
ますそして此葉の兩面は普通他の植物の葉の下面  
に當る部分で御座います、普通の葉の上面に當る  
部分は葉の下部で莖又は他の葉を擁する部分の内面  
が其れであります、つまり普通の葉が中肋を中心  
として上に向つて二つに折れてたゞまつて兩片が  
附着したものと見ればさしつかへがない譯です、  
此植物の莖は花をつける地上莖と地中にある地下  
莖とあつて地下莖は地上莖の枯死した後にも尙殘  
存して翌春新しい芽を出します、地下莖には多數  
の根を持つて居ります、此根の古いのを見ますと  
それには横の皺が澤山にあります此皺は大層面白  
いのでありまして最初根が延びる時は全くないの  
であります、根が充分に地中に展開して後に根が  
縮む爲に出来るものであります、地下莖は此根の

縮む爲に地中に曳き込まれるのであつて植物は其爲に其位置に固定され地下莖が浮く事がない様になります。

鳶尾科の植物で花菖蒲に似て居るものを申せば次の如きものであります。

いちはつ 是は花の外花蓋の中央部に雛冠の様な突起を持つて居るのが持兆です。

あやめ 是は葉も小さく花も小さく且外花蓋に黄色の地に紫色の網目状の模様のあるものです。

いちはつ 是は花菖蒲と間違へられますが此内花蓋は鋭頭でありますのと紫色であるのが持兆で葉は著しい中助をもつて居りませぬ。

玄やが 是は花が濃緑色で光澤を持つて居り花も非常に違ひますから間違ひはありません。

にほひしやうぶ 是は「イリス、フロレンチナ」と呼ぶものであります。が全體はいちはつに似て居ますが外花蓋の突起が毛状であります。此植物の地

下莖は「イリス根」と唱へて香料に用ゐられます。

此他花菖蒲に似た花をもつものは澤山あります。花菖蒲自身も澤山の園藝變種を持つて居りまし

て其數三百以上にもなります。是等は其花の形の種々雑多なるのみならず其色も又異なつて居りま

すから模型的の形を離れたものも多數にあります。花菖蒲に似ない鳶尾科の植物は色々あります。是

は花蓋の形が似て居ない丈で根本的の花の構造は同様なのであります。にはせきしやう、ひあふ

ぎ、等が是であります。

序に菖蒲について一言したいと思ひます。五月の節句に飾る菖蒲は名は似て居りますが花の構造

などは著しく違つて此植物はさといも、こんにやく、せきしやう、かいなど、共に天南墨科に屬

するもので花は肉穗花序と云つて多數の花の集つて穗状をして居ります。少しも美しくない花であります。

# 研究 錄 (二)

## ○幼稚園一ノ組幼兒觀念界調査表

(明治四十五年二月調)

東京市 阪本尋常小學校附屬幼稚園

動物	性別	調査人員	解答シタル者	百分比
種別	男女	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
犬	男	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
猫	女	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
鼠	男	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
馬	女	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
牛	男	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
猿	女	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
獅	男	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
熊	女	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
象	男	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
虎	女	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
鹿	男	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
兎	女	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
狐	男	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇
鯨	女	四五二〇五	四五二〇五	一一〇〇〇

鳥	雀	鳩	鶯	駝	鵪	蛇	鯛	鯉	金	蝶	蜻	蟬	蟻	蜂	蛙	赤
鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五
四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五	四五二〇五
一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇



牡 朝 蒲 椿 菖 藤 菊 櫻 梅 竹 松 種 白 黑 桃 樺 紫 綠 黃 青  
丹 顏 英 蒲 別

” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” 女 男 性 植 ” ” ” ” ” ” ” ” 女 男  
別

” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” 四 調 物 ” ” ” ” ” ” ” ” 四  
二  
〇  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

” 四 ” 三 ” ” ” ” ” ” ” 四 解 四 三 三 四 二 四 四  
五 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二  
〇  
五  
得 タ ル 者

” — ” — ” ” ” ” ” ” — 百 ” — ” ” ” ” ” ” ” ” —  
〇  
〇  
比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比

藕 種 松 蓮 午 葱 人 大 筍 茄 南 枇 葡 柿 林 梨 栗 蜜 桃 楓  
种 別 茸 根 芽 參 根 子 瓜 杷 萄 檣 柑

女 男 性 被 ” ” ” 女 男 ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” 女 男  
別

四 調 ” ” 四 ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” 四  
五 查 服 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二  
〇  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

解 四 四 四 三 四 四 ” 四 四 四 ” ” ” ” ” ” ” ” ” 四  
答 シ 五 五 三 二 四 三 ” 五 〇 〇 ” ” ” ” ” ” ” ” 五  
得 タ ル 者 〇  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

— 百 — — — — — — — — — — — — — — — — —  
〇  
〇  
比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比 比

[illegible]

阪本尋常小學校附屬幼稚園

種別	赤	青	黄	緑	紫	樺	桃	浅	鶺鴒	種別	赤	青	黄	緑	紫	樺	種別
性別	女	男	女	男	女	男	女	男	女	性別	女	男	女	男	女	男	性別
年	三	三	三	三	三	三	三	三	三	年	三	三	三	三	三	三	年
調査人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	調査人員	一	一	一	一	一	一	調査人員
解答シ得タル者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	解答シ得タル者	一	一	一	一	一	一	解答シ得タル者
百分比	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	百分比	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	百分比

種別	赤	青	黄	鶺鴒	種別	赤	青	黄	緑	紫	樺	桃	浅	鶺鴒	種別	赤	青	黄	緑	紫	樺	種別
性別	女	男	女	男	性別	女	男	女	男	女	男	女	男	女	性別	女	男	女	男	女	男	性別
年	七	七	七	七	年	六	六	六	六	六	六	六	六	六	年	七	七	七	七	七	七	年
調査人員	一	一	一	一	調査人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	調査人員	一	一	一	一	一	一	調査人員
解答シ得タル者	一	一	一	一	解答シ得タル者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	解答シ得タル者	一	一	一	一	一	一	解答シ得タル者
百分比	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	百分比	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	百分比	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	百分比

赤種	鵪鶉	淺黄	桃	檸檬	紫	綠	黄	青
別								
女男	性	合	”	”	”	”	”	女男
別								
四五	調	計	”	”	”	”	”	一一
七八	査							四八
	人員							
四五	解		×	×	×	—	—	—
七八	答	—				三	六	二
	シ得					一	一	一
	タル					六	六	九
	者							
一一	百	×	×	×	九	八	八	六
〇〇	分	七	一		二	八	五	八
〇〇	比	一			九	九	七	一
					九	九	六	九
					〇	〇	〇	〇

鵪鶉	淺黄	桃	檸檬	紫	綠	黄	青
”	”	”	”	”	”	”	女男
”	”	”	”	”	”	”	
”	”	”	”	”	”	”	四五
”	”	”	”	”	”	”	七八
×	×	三	三	二	二	三	一
二	二	一	四	二	八	九	六
							七
							二
							八
							九
×	×	六	五	三	五	六	一
四	四	六	八	一	七	九	二
三	三	〇	六	一	九	六	七
							七
							七
							五
							〇
							五

# き か ぬ 子

倉 橋 惣 三

この子は『きかぬ子』といふ意味には随分いろいろの場合が含まれて居ります。しかし之れを要するに、きかぬ子は人のいふことをきかぬ子でありまして、換言すれば自己主張の強い子供といふことになりま

ふことになりま

主張の研究であります。きかぬ子の研究は子供の自己主張の研究であります。

ところで、自己主張の強いといふことは、之れを正面から論ずれば素より立派なこと、子供に養成せらるべき性質として最大切なものでありま

す。知能が優れて居ても、感情が美しくても、また身體は強くとも、自己主張の力の弱い子でありましたら、到底眞に尊敬すべき性格の人とはなれないのであります。實用的にいへば世に役に立つ人とはなれません。道徳的にいへば吾々の信頼し得べき人とはなれません。古來少しでも世に益をなし、或は道徳的に偉大なりし人は、皆一と廉の強い自己主張を有して居た人であります。主張せられた自己の内容、其の自己を主張する形式に於ては種々さまざまであるのみならず、時には甚だ非自己主張の様に見える場合もありましょう、しかしそれとても心理的には矢張り強き自己主張であります。一世の俗論に反して眞理の爲に身をすてた學術上、宗教上の殉教者國難に身を捧げて自ら死に赴いた愛國の士の如き、道徳上の種類からいへば、自己より以上のものゝ爲に自己をすてたといふことになりましょう。けれども何故そ

の人々がそういふ勇敢なる自己放棄を敢てし得たかといふ心理的理由に遡れば、その如く眞理を貴び、その如く國を愛し得るように、先づ強い自己主張を有して居たのであります。斯る壯烈なる行為のみでなく、日常普通の生活に於ても善人は決してお人よしではありません。東から風が吹けば西に靡き、北から水が流るれば南に漂ふといった様な、たい人のいひなり放題になつて居ることが決して眞の善人ではありません。たいそんなものが無我であり捨身であるとならば善人程たよりにならぬものはありますまい。愛は己れを損てるなりといひますが、身をすてゝこそ活くるなりけれど、それこそ單に最強なるのみならざる最高なる自己主張でありますまいか。また斯うまで推しつめた最高標準で考へませんでも、滔々として利に聴き輕佻の世に立つて、儼然として獨り俗流に逆らふといふ様な必要のある場合、諸士が心中一

片歌々の節義を持するものも亦、堅固なる自己主張に他なりません。福澤翁の彼の瘦我慢の説の如き、また詩人ドライデンの句だと覺えて居ります。が、所謂ノープル、スタッボーンネス（尊敬すべき頑固）の如き皆これ「きかぬ氣」の高尙なものであります。而して之れが子供の時にも存して居ります。成る程孫を玩具の様に思つて御座る祖母様や、生徒を土偶の様に心得て居る先生からは、不從順だとか可愛氣が無いとか不評判であります。けれど、心性の中々しつかりとした子供がおります。口數の少ない、併し一旦ものを言つたらイエースとノーとの區別のはつきりとして居る、一々小さい事に人の干渉を受けるのは嫌ひだけれども自ら守るべき丈のことは守るといつた風の子供が男子でも女子でもあります。かういふ子は子供ながらに自分の主張といふものが——理屈からでなく性格から——ありますから、自然負け嫌ひと

いふ形になつて外にあらはれます。そのあらはれ方に上品下品、大きい小さいのいろ／＼はありますが、その手ごたへのある勝氣な處は、その將來にたのもしき性格であります、或はヒンチメンタルな情緒生活や、頭ばかりが先へ／＼働く才智生活の跋扈し勝ちな當世に、子供の性格を一點斯くの如ききかぬ氣のものに教育してゆくことは極めて大切なことであります。

處がきかぬ子といふ言葉、は斯ういふ正當なる自己主張の意味のみに用ゐられて居りません。うちの太郎は中々きかぬ奴で面白いと言つた様によき意味に用ゐられることは甚だ稀であります。多くは、うちの二郎のきかぬ子には困りますと言つた風の、よくない意味に使はれて居ります。といふのは、どんな子供達のことなのであります。か。

悪い方のきかぬ子は曲つた自己主張であります  
よく頭の頂へ指を立て、それを前へおろし、真  
直ぐに鼻のすぢへ當ればよし、それが横へそれ  
ばつむじ曲りか鼻曲りか、兎に角、根性の曲つた  
子だと言ひます。斯ういふ様に身體の中軸の線の  
真直ぐでないことが、如何なる具合に精神と相關  
係して居るものかは知りませんが、何しろ心の動  
き方の、真直ぐでない形容すべき子供は澤山に  
あります。無形なる心の動き方を真直ぐとか曲つ  
て居るとか言ふのも可笑しなことでありますが、  
同じ自己主張でも、その平衡がとれて居ない處は  
心が曲つて居るとしか思へないのであります。  
而して自己主張の平衡のとれて居ないといふこ  
とには、先づ二つの種類があります。その一つは  
主張すべき自己そのもので正理の平均を失つて、  
或る偏倚の状態にある場合であります『わからず  
や』といふのは、此の偏倚を正すべき正理の調整

を失つて居るといふ意味であります。『我意を張  
る』といふのは、自己が自分の重味によつて一方  
へ偏倚して居るといふ意味であります。『頑固』と  
いふのは自己が偏倚したるまゝに動かすべからざ  
るやう固着して仕舞つて居るといふ意味でありま  
す。いづれにしても、此の種のものは主張す  
べからざる事を主張して居るといふ、理知上の  
誤に陥て居るのであります。之れは思慮判断の  
資料の未だ少ない子供にあつて當然起りさうなこ  
とで、譯の分つた成人の目から見ても愚昧だところ  
思へ、一方には無理もないことゝも思へるのであ  
ります。老年の頑固は今更如何とも出来ないかも  
知れませんが、子供の『わからずや』は多くは分別  
の發達と共に次第になほつてゆくものであります  
子供は人間一代の進化からいへば丁度野蠻人の狀  
態に居るものであります。成人から見れば可憐な  
る無智であると共に、暫くは容易く歸順させ難い

きかぬ子であることも已むを得ません。斯ういふ  
きかぬ子は手には餘つても憎氣はないものであり  
ます。

然るに第二の種類の、自己そのものの誤りより  
も、主張の仕方から起るきかぬ子で、之れにまた  
二つの種類があります。その第一は主張の内容の  
貫徹よりも、主張そのことから生ずる快感を追求  
するもので『わがまま』といふのが多く之れであり  
ます。くだらない小さなことに迄、自分の主張が  
人に勝たなければ心持が悪いといふ一種の病的な  
習慣性な誇大妄想式な気分から起るものでありま  
す。その第二は必ずしも常に勝を制せんことを索  
むといふ心持がもとになつて居るものではありません  
が、相手の出かたによつて、其の場々々々、ち  
よい／＼と逆つて見度くなるのであります。必ず  
しも反對の主張が豫め存するでもなく、反對を  
徹し終へようとするのでもなく、寧ろ心中には賛

成であり、またどうせ養成する積りでは居りなが  
らも、逆つて見るといふことに抵抗の快感を有す  
るもので『意地曲り』といはれるのが多く之れであ  
ります。彼の地中に居ります「あまのじやこ」とい  
ふ虫の脊が丁度棒か何かで打たれた痕の様に腫れ  
上つて居ますのは、此の虫一つがお釋迦様の言ひ  
つけに背いて右といへば左、左といへば右へ行つ  
た爲に罰せられたのだといふ傳説から、中國邊で  
は、斯ういふ種類のきかぬ子のことを「あまのじ  
やこ」と申して居ります。

第一の種類の比べて、第二の種類のきかぬ子は  
餘程怪しからぬ性質のものであります。如何にも  
憎らし氣に感ぜらるゝものであります。取扱ひの  
上から、困るゝ手に餘るといふよりも、もう一步  
進んで其の心狀が忌はしく思はれて來るのであり  
ます。従つて斯ういふ子供達に對する吾々の態度  
は、餘程苛酷なものになり勝ちであります。しか



し成人の場合に於ける斯ういふ所業と、子供の場  
合とは、一つ並に見做すことは出来ません。即ち  
子供の場合にはまた特殊なる解釋を待つべきこと  
が多くあるのであります。そこで、きかぬ子の原  
因調べが必要になつて参ります。

### 三

正當なる自己主張の強いといふこと、徒に勝  
を制することを快しとすること、は、似て非なる  
こと甚しきものであります。前者は意志の固執性  
の順當なる發達でありまして、後者は感情の病的  
なる執拗であります。『強情』即ち情の硬い子とい  
ふ言葉はよく其の當を得て居ります。意志はどこ  
迄も自己を徹して行かうとしても、情の方で之れ  
を和げてゆくのが普通であります。それを強情な  
子の場合には情の暴虐の満足が勝つて居るのであ  
ります。御承知の様に、意志の作用には推進的な  
作用と、抑制的な作用とがあります。強情なる子

供の場合には、此の推進的意志力が必ずしも強い  
のではないのみならず、抑制的意志力の甚が弱い場  
合が多いのであります。即ち意志の弱い子が却つ  
て屢々強情であることがあります。而して斯うい  
ふ強情が何故募るかといふ理由を索ねて見ます  
と、二つの反對なる條件から起つて参ります。其  
の一つは自我感情の過度に放肆なる満足から増加  
的に起ります。他の一つは、その反對に自我感情  
の満足の不自然なる壓迫から反動的に起ります。  
前者は甘やかし子に見る例、後者は虐待兒童等に  
見る例がそれぞれあります。甘やかされてのみ育つ  
た子が、從順即ち正當なる自己抑制の訓練に就  
て受くる處がなく、言ひ換ふれば適當に自ら己れ  
を管束してゆくといふ抑制的な意志力が缺けて居  
る爲に、止め度もない強情を募らせることは、明  
かなる理路であります。恩愛はあつても思慮のな  
い親達は、此の意味に於て子供をきかぬ子に拵へ

上げて仕舞ふのであります。此の反對に、餘りに  
嚴しい干涉や、薄倖なる境遇上の關係やから、つ  
いぞ自己といふものを正當に主張することもなく  
しかも心の内面には、むら／＼として自己主張の  
慾望が強いとすれば、偏屈なる、陰險なる、妙に  
ひねくれた對人感情に變質してゆくことは、之れ  
亦是非もないことであります。人は皆自分を抑壓  
するもの、自分に邪險なものといふ考へが根強く  
心に出來て仕舞へば、そういふ子供の心は屈服か  
反抗かの二つになります。處が事實は純粹の屈服  
と堂々たる反抗との中間性のものになります。意  
地曲りのひねくれ根生といはれるのがそれであり  
ます。生れるとすぐ親には捨てられ、社會からは  
忌み嫌はれて、他人のやさしみを受けたことのない  
放浪少年などが、妙に偏執な反抗的な共通性を  
有して居ますことは、此の顯著なる例證でありま  
す。即ち斯くの如きは自己主張といふよりも、實

は甚だ消極性なもので、自己防衛といふ方が勝つ  
て居るのであります。なにくそつと意地張つて來  
る處は、一見如何にも強い性格の様に見えますが  
その實、負かされまいとする弱者の意識に基いて  
居るものであります。『得意の頭は低い』と申しま  
すが、その反對に人から侮られはしまいかといふ  
様な弱味のある時には、却つてくだらない事にも  
人に凌がれまい人に乗せられまいといふ無理な態  
度になるものであります。斯くの如く境遇の上か  
ら自己防衛の情の過度に強くなつて居る子供が、  
一種の強情兒になりますことは、敵の前の針鼠の  
身體が硬くなる様に、いはい生物學的に自然な現  
象であります。此の意味に於て愛の足りぬ成人は  
子供をきかぬ子にこじらかして仕舞ふのでありま  
す。

次にこま／＼しい抵抗の快感に基く意地曲りも  
亦周圍の人の仕向けによつて作らるゝことがあり

ます。始終抵抗のやはらかい取扱ひを受けて居る子供は、すらくとした自己主張の経験のみをして抵抗を感じません爲に、一々の小さいことに迄自己を意識する様なことは無いのであります。従つて温順な素直な心柄に作られます。その反對に親が心の粗つばい人間であります場合には、之れに對する子供の心は始終抵抗を感じて居りまして終には抵抗が常性になつて仕舞ふのであります。バツテン、キーゼル氏は昨年の研究に、子供の意地曲りは傳染すると言つて居りますが、實際親の意地曲りが子供に傳染して居る場合は屢々實例に富むことであります。私共は此の意味に於て、きかぬ成人が、『きかぬ子』を作ることを警むべきなのであります。

#### 四

以上は教育の誤りから出來た『きかぬ子』であります。併し、子供の自己主張が亂調になることは

もつと必然的に、即ち純心理的理由及び純生理的理由からも起るのであります。純心理的理由といふのは、子供の或る年齢に於ける自我感情の興進であります。子供に自我感情の最も強い時機は凡そ三度あります。第一は三四歳の頃の、純本能的な自我生活であります。之れは詳しく説明を要しますまい。次には十歳前後の強烈なる自己發揮であります。此の時期は鬭争的感情の最も盛なる時であります。遊戯に於ても競争性のものが最も好まれ、秀逸を争はんとする心が事毎にあらはれるのであります。第三に十六七歳即ち青年期初期に於ける自我感情は所謂自我覺醒期でありまして、少年期の自我性の謂はゞ動物的なるに對して、精神的なるものであります。たゞ徒に勝を競ふといふのではなく、従来盲目的に依従した自己以外の一切の權威に對して、覺醒せる自我意識が反抗して來るのであります。斯くの如く三つの時期

に、それ／＼性質の異つた主我性があらはれますに連れて、それ／＼の性質の一次的きかぬ子になることは免れないことであります。素より子供によつて其の強弱の程度の差はありますが、うちの子は此の頃なんだか急に『きかぬ子』になりましたといふお母さん達の不審や、何年級は何故だか手に負へない『きかぬ子』揃ひだといふ先生方のお困りなどは、此の心理的一般原則によつて大體解明せられるのであります。そして、その時の強情が悪い癖となつて後まで残らない限り、之れは自然になほるものであります。

それから生理的原因としては俗に所謂『氣むづかしい』と稱せらるゝ種類の『きかぬ子』の多數に於て見る事實であります。生理上の異常が如何にして精神上に影響を及ぼすかといふ理論的話は別として、此の事實は疑ふべくもありません。過度の疲労、殊に睡眠の不足、内臓の不健康、わけ

でも胃腸の疾患、及び肝臓の病氣、感官の障礙、就中鼻や耳の故障、斯ういふ純生理的障礙から精神が非常に影響せられるのであります。疲労の結果は、一方には意志の抑制力を減じ、一方には感情生活を荒涼ならしめて、茲に申し分なき『氣むづかしい』が出来上ります。之れは必ずしも常性的のものでなくとも、寐足りない子の醒めぎはの不機嫌は極く普通なる例證であります。どうかした譯で此の疲労が直に恢復せられず、その上へ／＼重なつてゆきますと終には慢性的な『氣むづかしい』になつて仕舞ひます。消化機や肝臓の疾患が所謂有機感覺に影響して、氣分の變化を起すことは吾々でも始終経験することでありまゝ。鼻や耳の故障が直ぐに腦の方に關係を有して、從つて性情に大關係のあることは、近來學童衛生の問題中最も注意せられて居ります。其の他齒痛であるとか、眼病であるとか、些々たる故障であり

ましても氣分の上に影響して、いら／＼した心持になります。そのいら／＼した心持から、いつもならば何でもないことにまで機嫌を損して、平常にも似ぬ『さかぬ子』になります、斯ういふ風な原因から出来て居る『さかぬ子』の匡正が、身體上治療から先づ初められなければならぬことは、言ふ迄もありません。しかし此の明瞭なる先後が誤まれて居る場合も少くないのであります。殊に昔から子供の疳といふ漠然たる言葉であらはされて居る子供の不機嫌に對する取扱法などは屢々間違をされて居るのであります。

## 五

以上は『さかぬ子』の種類、原因の事實上の説明であります。次には多少評價の目から、もう少し細かに異同を考へて見る必要があると思ひます。

その第一は所謂『負けぬ氣の』大小二種の區別であります。之れは寧ろ性格の大小別に歸するのか

も知れませんが、外見屢々混同せられて居ることがあります。又其の評價が顛倒されて居ることさへあります。大石藏之助は際限なく大きな負けぬ氣でありました。その爲に性根無しと見られて居りました。村上喜劍は如何にも武士根性の華の樣に見えました。併し、その實は小さい負けぬ氣でありました。子供にも甚だ慷慨悲憤的に、小さなことに負けぬ氣を小出して居るのがあります。又一見極めて平氣の樣に見えて、その實は大いに己を高うし、自己を主張して居るのがあります。後者の大度大量は子供ながらも畏敬の念を起すのに對して、前者はチク／＼とめまぐるしい、またかと言つた風に、強さも何にも感じ得なくなるのであります。成人にも斯ういふ人があります。くだらない小さなことに直ぐ刺戟を受けて、一々少しでも負けて居られないのであります。一寸人とは話をして居りまして、一言一句に自分の考へ

を立て、行かうとして、『だけれども』『ですが』といふ様な種類の言葉を續出して對手の言ひ分を一つ／＼抑へて来る人があります。また正面からその露はに出られない場合には、何とか彼とか、効果もない捨臺詞を放つて、自分だけ満足して居る人があります。大局に於て自分の主張なり尊嚴なりが損せられなければ、部分々々はどうでもいいといふ様な悠容たる態度を以て、よく人の言を聴いて居る人々に較べますと、同じく『負けぬ氣』に斯くも大小があるかと思へるのであります。もう少し大きなことにしても、何かといへば主義主張を持ち出して些細のことに我を張り通して居る人があります。さうしては憚りながら骨が御座るといつた様のことを得意として、人もさう許して居ることがあります。成る程骨はありませう。しかし骨も小骨では厄介至極であります。骨は大骨でこそ貴いのであります。それが小骨ばかりで大骨

が無いのだつたら此位つまらないものはありません。又大骨は大骨であつても小骨は甚だ迷惑千萬であります。

第二は自主性の負けぬ氣と、對象的な負けぬ氣との區別であります。之れもやがては大小の別とも見られるかも知れませんが、又多少見方を異にして居ります。自主性の負けぬ氣は、對手の如何といふことが何等の關係を持つて居ないものであります。道理そのもの、前にと、正當なる權利の擁護の爲にとかいふ自主的理由からの負けぬ氣であります。然るに對象的のものとなりますと、對手といふものが大に關係を持つて居る許りか、一層極言すれば對手から支配せられて居るのであります。對手たる人により、又は對手の出方によつて、言ひこじれて行くと、一寸すねて見る、何とかひねくれて見ると言つた場合であります。終には自分の主張そのものはどこへか行つて

仕舞つて、たい對手に當るといふことだけに氣を奪らるゝに至ります。常人の心では對手を制して居る積りでありませうが、事實は對手から制せられて居るのであります。殊に人の悪い對手にあへば識らず釣られて居ることさへあります。

## 六

以上考へて來ました『きかね子』の種類、原因、異同等によつて、其の教育的取扱ひ及び指導上の注意はおのづから明瞭であります。しかし更に極めて實際的に考へて見ますならば、『きかね子』の取扱方の要訣は二つになります。其の一つは所謂『柔よく剛を制す』の秘訣にあります。どの種類、どの原因でありましても、『きかね子』が其の本領を發揮して、吾々の手に餘るといふ場合は、其の自己が主張せられて居る時であります。つまりは自己が他の自己に對して抵抗の状態に居る時であります。そこへ何の彼の手を加へて益々抵抗

の感じを大にしてゆくことは、却つて彼れの主張を募らせる所以であります。こちらの抑壓が強い爲に、假りに已むを得ず其の場合だけ主張を撤回しましても、どこかへ其の餘勢を漏さすには終りません。さうすれば表面は制し得ても、實は一層悪い陰性の『きかね子』にするのであります。と言つて其のいふなり放題に一々従ふといふことは、『きかね子』を益々募らせることになります。そこで或る人は『リップ、アローン、メソッド』と申して居りますが、つまりそつとして置いて、其の抵抗を無くすることが一番の法であります。『むつとして出づれば門の柳かな』、彼れもおのづから和がざるを得ないのであります。但し、之れは秘訣といひましても、人わるく、子供をだますといふのではありません。こちらのやわらぎを以て、ふつくらと彼れのつづばつて來る主張を受けるのであります。私共は子供の自己主張に對して、大人氣

もなく自己を主張し返して、互に鎗を削りあつて居る親や先生を見ることがあります。又子供の強情を撓めようとして、却つて抵抗のお相手になつて、之れを募らせて居るのを見ることがあります或はまた愛の足りない、たいの巧者から、うまく子供をあやなして、其の場は成功しても實は子供を人わるにして居るのを見ることがあります。之れ皆『きかぬ子』の本質を明かにしないから起る誤りであります。

第二の要訣としては、上に述べました處では良き意味の『きかぬ子』と悪き意味の『きかぬ子』とは截然兩つに分たれて居るかのように見えますが、

これには抽象した分解的なお話で、事實は、さう區別せられて居るものではありません。良き意味の『きかぬ子』にも、悪き意味のものになる傾向あり悪き意味のものも良い意味のものになり得る傾向を有して居ますので、きかぬ子を全然悪いもの扱ひするのは大きな間違であります。『きかぬ子』が素直にはなつたけれど、張りも意地もない意氣地なしになつたのでは臺なしであります。小さい、對象的な『きかぬ子』は無くなつて、大きい、自主的な、良き『きかぬ子』を作られなければならないのであります。

## 森の幼稚園 (六)



五月初めのことでした。裏の井戸で足を洗つて居ると、先生がいつもの黒い帽子に太いステッキを持つて散歩から歸つて來られて『花田君、今夜新茶を飲みに來給へ』と誘つて下さつた。

先生は、時々お忙しい中に暇を作つては、斯うして吾々を茶に招いて下さる。茶によばれるといふと、大層ハイカラめいたことの様であるが、先生のは少しもそういふ風ではない。北海道の友人から林檎を貰つたからとか、甲州から干柿を貰つたからとか、季節々々の到來ものなどを中心にして、呑氣な閑談に樂ませて下さる。それも、奥さんとお嬢さんとで、餅草を摘んで、一日がゝりで草餅が出来たとか、信州から新蕎麥の粉を貰つたからとかいふ特別な時を別にしてはふだんは大抵一人か二人を靜に呼んで下さる。毎日々々忙しい用や、子供の相手に氣を働かしてばかり居ては、ついでに心が、動き易い、浅い軽い一方のものに

なり過ぎる。それがあながち悪いといふのではないけれども、時には、しんみりとした、深く重く落ちついた自分といふものを味ふこともなくてはならない。自分の修養を離れて人の教育は出来ない。幼児教育とて同じことである。さしあたりの問題に餘りに多く囚はれては、教育の仕事には熱心でも、自分がお留守になることがある。時折り『教師』といふものでない、たいの自分をも靜に味ひましようといふのが、先生の茶のお心と思はれます。

私は其の夜、夕餐の後一寸用をして、先生の書齋をお訪ねしました。

『やあ、その大きい椅子へかけ給へ、大分ゆつくりだつたじやないか』

『はあ、一寸母の處へ手紙を書いて居まして』

『お郷里ではお變りないかね』

『有り難う御座います。昨日も母から手紙が參り

まして、皆丈夫だと申して來ました』

『そう、君は幸だねえ、いゝお父さんとお母さんともつて。』

『先生、その本は何で御座います』

私が来る前、先生は藤の安樂椅子で身を埋めて水色表紙の支那本を読んで居られました。私が上つたので、それを閉ぢて前の小卓の上に置かれました。その本を指して私は斯う尋ねました。先生は丁度下になつて居た表紙をかへして、

『傳習録だよ』

先生が王陽明を愛讀せらるゝことは豫々聞いて居ました。

『一と口でいふと、王陽明の教へはどういふのでしよう』

『一と口と言つては困るねえ。丁度こゝに君の面白がりそうな句があるよ』

先生が開いて見せて下さつた處を讀むと『如木

之栽培灌溉一是下學也。至<sub>二</sub>於日夜之所<sub>レ</sub>息條達暢茂<sub>一</sub>乃是上達。人安能預<sub>二</sub>其力<sub>一</sub>哉。』と書いてあります。成る程之れは私にも分る。

『ねえ君、君の専門の園藝から言つたつて眞理だらう。栽培や灌溉の必論は勿論さ。併しその工夫が如何に精微を極めたつて、そのみで植物が生育する譯じやないといふだねえ』

先生のガーデン主義は、こんな四角い字の古い本でも賛成してるのかと、儒學に昏い私は大層珍らしいことに思ひました。

そこへ奥さんが茶を持つて來て下さつた。

『いらつしやいまし。花田さんには甘いチヨコレ

ートの方がおよろしいんでしよう』

奥さんの優しいお顔を見ると、母に逢ふ様な心持がします。

『いゝえ、之れでなか／＼風流なんで御座います』

『花田君の風流はおもしろいねえ、ハ、ハ、ハ』

『ハ、ハ、ハ。随分いゝ香で御座いますねえ。私は新茶を飲むと祖父のことを思ひ出します。茶が好きなでしてねえ。』

『花田さんはほんとにお優しいんですね。こないだも美山さんがそう言つていらつしやいましたよ。花田君と話してると、きつと家の人のことが出るんですよつて、』

『孝子之有ニ深愛ニ者必有ニ和氣。有ニ和氣ニ必有ニ愉色。有ニ愉色ニ者必有ニ婉容。だね』

『そんなことはありませんよ。奥さん一寸その急須を拜見。私は新茶を一煎した後の葉の色が、何ともいへず好きなんです、茶畑の新芽を見るように』

『ハ、ハ、ハ、花田君の風流は、矢張り植物學的風流だね』

『先生、さつきの句のような、私にも分りそうな處はもう御座いませんか』

『そうさねえ。之れも君に面白いだらう。初種根時只管栽培灌漑勿レ作ニ枝想。勿レ作ニ葉想。勿レ作ニ花想。勿レ作ニ實想。懸想何益。但レ不忘ニ栽培之功。怕レ没レ有ニ枝葉花實。』

『なる程、之れは先生が始終おつ仰やる教育の要訣と同じ教ではありませんか』

『王陽明は立志の脩養を教へて居るのだけれども、之れを直ぐ教育上の教へにも解せられるねえ。『懸想何んぞ益せん』といふ句が殊にいゝねえ。枝をどうしようの、葉をどうしようの、花をどうしようの、實をどうしようのと、餘り考へ過ぎた教育は飛んだ弊があるからねえ。幼稚園なんかでは殊にそうだよ。』

『そう考へて行くと、教育といふものが、ゆつたりとしたものになりますねえ。』

『もう一つ如何です』

『どうぞ』

『一つおつまみなさいましな』

『はい。此の風流人はお茶だけでは……』

『オホ、、、澤山召上りませな』

やがてお暇して外へ出ると、新茶と王陽明とで、すがくしくなつた私の頭の上を、夏の初めの淡い月影が、しつとりとして照らして呉れます。

## 雑 録

### 清水行

(静岡縣保育會總會)

節句に近い新緑の東海道は、村毎に鯉幟の見えるのが嬉しい。中にも、こんもりとした若葉の森をひかへた、人ざと遠い小さい一軒家に、赤い新しい鯉幟の翻へるのを見た時は、餘りの嬉しさに胸の踊るをさへ覺へた。殊に蕪村の名吟「富士

一つ埋み残して青葉かな」の大景に、發流の鯉幟、吹流し勇ましきは、清爽の畫趣盡きざると共に、「吾れは日本國を愛し、其の子供達を愛す」てふ念ひの、今また新らしく胸をついて湧き起る感がある。年々歳々青葉久しへに新らしく、町に、村に、里に、初鯉幟いよゝゝ大きく、其の數ますます多かれとは、四月二十八日清水港に開かれた静岡縣保育會大會へ行く、急行車中の感想であつた。

午前の研究會には、縣内各幼稚園から豫て提出せられてあつた左の諸問題が、各員の實驗に基いて討議せられたのは甚だ有益であつた。

#### 一、新入園児の取扱方につき

(静岡幼稚園提出)

二、家庭の階級を非常に異にする幼児をひと組としたる場合には如何に取扱ふべきか

(沼津幼稚園提出)

三、幼稚園より小學校に送りたる兒童の特別な缺點と、其の原因及び之れに對する注意

(沼津幼稚園提出)

四、幼兒に對する室内作業と屋外自由遊戲との時間數の適當なる配案如何

(掛川幼稚園提出)

之れ等の問題は、提出幼稚園のみでなく、恐らく一般幼稚園の共通問題である。而して假りに議論はどうせられても、實際上には中々容易に解決され難い問題である。短い午前中の研究で、完全なる解決、十二分な斷案がつくことは多分出來難いことであらう。しかし、斯うやつて各人の經驗なり意見なりから研究討議されて居る間に、數へられない多くの有益なる暗示なり參考なりを與へられる。ものは一寸論じて見て易いことで、深く考へて益々六かしくなるものが多い。幼兒教育の實際の如きその一つである。折角集まれた會員

が、たゞ一場の講話を聴くといふ受動的な態度のみでなしに、斯く互に考へ、互に語るといふことは、かくてこそ初めて眞に同志者の會合に其の利益も興味も湧いて來るのである。且つ之れに列席の視學諸氏や、學校長諸氏の意見を交へ加へられたのも愈々討究を活潑ならしめた。始終實際上に苦心して居ることである。始終熱心に興味をもつて居ることである。語り度いこと、問ひたいことはいくらもある。それを互に打ちあけてこそこういふ有益な會合が出來たのである。殊に幼兒教育にはまだ何等の完全なオンラインリチーはない。お互は自ら研究するの他はないのである。

\* \* \*

午後は講演(別項所載)後、一同大傳馬船を艤してかざはやのみほのうらわに舟遊びの催しがあつた私は用事を急いでその悠遊に加はることが出來なかつたが、折柄の好晴、後ろに新翠の三保の松原

を振りかへりつゝ、右は田子の浦、清見瀉、打ち  
仰ぐ富士の白雪。左は龍華寺、有渡の山ついきさ。  
静かなる夕汐は軽く舳をたゝいて、清懷の吟に和  
すべく、船の滑かに漕がれゆく後には一路の水脈  
感興の悠々として盡き難きに從ふ。その清樂のい  
かばかり深いことかなと思ひながら、静岡縣保育  
會の幸多き將來を心に祝しつゝ歸つた。(倉橋生)

### 本會夏期講習會

例年の通り今年も本會の夏期講習會を開きます。大體廣告欄に豫  
告の通り。講師赤津氏は此の方面の御研究に詳しい方で、また技  
能に於て最すぐれた方であります。幼稚園保育に最も必要な黒板  
畫に就いて専ら實習的に御教授がある筈です。尙詳細のことは七  
月號で申上げること致します。去年は神戸、岡山、新潟等の遠き  
からのみならず、大連、其他の地からも御來會の方がありました  
のに、いろ／＼手まはり兼ねておそう／＼を致しました。今年には  
充分計畫もし準備もして、つとめて有益なものに致し度いと思つ  
て居ります。殊に地方からお出京の方の爲に宿泊其他出来るだ  
けの御便宜を計り度いと思つて居ります。會員の方々、また其の  
他の方々も多數お集り下さつて、研究の他に各地方の同志の懇親  
の爲にも此の會が役に立てば幸だと思ひます。

### 本誌定價

一冊郵税共金拾一錢 六冊前郵税共六拾錢  
拾二冊同金壹圓貳拾錢 郵券代用一割増

### 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ  
込み下さい。直に御送本致します。(振替口座東京一七二  
六六番)

### 本會宛御用務

本會宛諸般の御用務は左の如く願ひます

(庶務上保姆紹介に關する件をも含む)の御手紙は  
東京市小石川區久堅町七十四番地フレイベル會事  
務所宛

會計事務は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、  
雨森鋤宛

本誌編輯の御用務(寄稿、廣告等)は東京府下千駄  
谷八七八倉橋惣三宛

明治四十五年六月一日印刷  
明治四十五年六月五日發行

編輯兼發行者 東京府豐多摩郡千駄谷町大字千駄谷八七八  
倉橋惣三

印刷者 東京市本所區番場町四番地  
平井登

印刷所 東京市本所區番場町四番地  
凸版印刷株式會社本所分工場

發行所 東京市小石川區久堅町七十四番地  
フレイベル會